

中津川市公立病院評価委員会が開催されました

中津川市民病院、国保坂下病院では、平成 21 年度から平成 23 年度までの期間で中津川市公立病院改革プランを策定し、病院事業の改革に取り組んでいます。

住民代表、地域の医療関係者、中津川市の関係部長、両病院長、有識者により中津川市公立病院評価委員会を平成 25 年 1 月 24 日に開催し、平成 23 年度決算実績に基づき事業評価を行いました。

目標数値による評価結果

市民病院

区分		23 年度目標	23 年度実績	評価
財 務	経常収支比率 (%)	96.5	98.1	1.6 ポイント達成
	職員給与費比率 (%)	52.8	54.0	1.2 ポイント未達成
	病床利用率 (%)	71.0	66.1	4.9 ポイント未達成
	材料費比率 (%)	22.7	19.0	3.7 ポイント達成
医 療 機 能	1 日平均入院患者数(人)	284.0	238.0	46.0 人未達成
	病床利用率 (%)	71.0	66.1	4.9 ポイント未達成
	平均在院日数 (日)	15.3	12.8	2.5 日達成

★経常収支比率 (100%以上で黒字) で 1.6 ポイント達成できました。

坂下病院

区分		23 年度目標	23 年度実績	評価
財 務	経常収支比率 (%)	96.2	98.0	1.8 ポイント達成
	職員給与費比率 (%)	54.3	54.4	0.1 ポイント未達成
	病床利用率 (%)	70.4	78.2	7.8 ポイント達成
	材料費比率 (%)	16.7	16.2	0.7 ポイント達成
医 療 機 能	1 日平均入院患者数(人)	140.0	156.0	16.0 人達成
	病床利用率 (%)	70.4	78.2	7.8 ポイント達成
	平均在院日数 (日)	27.2	23.8	3.4 ポイント達成

★経常収支比率 (100%以上で黒字) で 1.8 ポイント達成できました。

委員会での主な意見及び回答

- ・ 24 年度の経営傾向はどうか→市民病院は一人当たりの患者さんに対する医療費が上がっており、上向き傾向となっています。坂下病院はほぼ同様となっています。
- ・ 休床病棟は使えるのか→全国的な看護師不足により使えるめどは立っていないが、看護師確保に向け修学資金貸付制度の活用や、看護学校訪問などを行っています。
- ・ 優良病院との紹介率の違いは→開業医との連携が違っている。今後充実したい。
- ・ 医師確保についての考えは→医師不足の中、地域医療を守っていくために、常勤でない科の医師確保と産婦人科医の確保に力を入れたい。
- ・ 都市づくりの中で計画的に考えられないか→街づくりには医療は欠かせず、市全体で考えていきたい。

今後の方向

- ・ 策定した 24・25 年度計画で改革プランの経営目標である経常収支の黒字化を目指し、2 つの病院とも経営改革を進め、目標達成に向け努力していく。

問 先 市民病院 総務人事課 66-1251 (4505)

坂下病院 総務課 75-3118 (201)